

This question paper contains 2 printed pages.

Your Roll No.....

7675

A

M.A. / IV Sem.

**Japanese – Paper JL-403**  
(Methodology of Foreign Language Teaching  
with special reference to teaching of Japanese)

Time : 3 hours

Maximum Marks : 50

(Write your Roll No. on the top of immediately on receipt of this question paper).

- All questions are compulsory.
- Numbers in the parenthesis indicate the marks allotted to each question.

1. 「音節」とは何か。自分の言葉で説明しなさい。 (5)  
又は  
「開音節」と「閉音節」の違いを、例をあげ、説明しなさい。
2. 「撥音」とは何か。撥音を教える時、どんなことに注意しなければならないか。 (5)  
又は  
日本語の促音(つまる音)はどのように表れ、どのように発音されるか、例を出して説明しなさい。
3. 文法訳読法では教師がどのような役割を果たすのか。それはコミュニケティブ・アプローチとどのように違うか。 (5)  
又は  
文法訳読法では外国語がどの目的で教えられているのか。
4. 「置き換えドリル」とはどのようなドリルか、例をあげ、説明しなさい。 (5)  
又は  
「インフォメーション・ギャップ」とは何のことか。説明しなさい。

5. 「第二言語」とは何か。それは「母語」とどのように違うか。 (5)  
又は  
「学習」と「習得」はそれぞれどんなことが説明しなさい。
6. 今まで外国人に日本語が普通標準語として教えられてきた。その理由を  
三つ書きなさい。 (5)  
又は  
日本ではこのごろ方言の学習をもする人が増えてきたが、その理由は何  
か。
7. 「リアリア」とは何か。外国語教授には「リアリア」の適切さは何か。(5)  
又は  
「コミュニケティブ・アプローチ」では教師はどのような役割を果たす  
のか。
8. 「オーディオ・リンガル法」では母語はどのように扱われているか。 (5)  
又は  
「文法訳読法」では母語はどのように扱われているか。
9. 「文法訳読法」の長短を説明しなさい。 (10)  
♦ 又は  
「オーディオ・リンガル法」の長短を説明しなさい。  
又は  
「コミュニケティブ・アプローチ」の長短を説明しなさい。

— 終わり —